様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 690129	中学校学習活動事業	主管課名	学校教育課
この事務事業の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成		
	施策	豊かな心と個性が輝くまち	課長名	水野　克弘
	基本事業	教育内容・活動の充実		

(1)事業の概要

生徒を恵まれた自然環境の中で、集団生活を通して人間的触れ合いを深めるとともに、自然とふれあい、地域社会への理解を深める。通常の生活では得がたい体験を与え、生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図る。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	借上げバスの台数	台
②	オリエーテーション合宿、自然教室の延べ開催日数	日
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	生徒を恵まれた自然環境の中で、集団生活を通して人間的触れ合いを深めるとともに、自然とふれあい、地域社会への理解を深める。通常の生活では得がたい体験を与え、生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図る。
26年度計画	■前年と同様　□変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

中学校　１・２年生

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	中学校　１・２年生徒数	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

合宿訓練・自然教室に参加する。

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	参加した生徒数	人
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

安心して生活でき、進んで学習できる環境をつくるとともに、規則正しく生活する健康な体力づくりを行う態度を育てる

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	教育基本計画における重点施策の達成率	%
②	体力テストの県平均を上回った項目の割合	%
③	身体測定の全国平均を上回った項目の割合	%

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	台	45	54	50	50	50	50
	②	日	22	22	22	22	22	22
	③							
(6)の対象指標	①	人	1,534	1,571	1,545	1,525	1,540	1,515
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	人	1,534	1,571	1,545	1,525	1,540	1,515
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%	96.2	98.1	100	100	100	100
	②	%	55.8	55	60	60	60	60
	③	%	30	30	30	30	30	30

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	10	項	03	目	02

(11)コスト

		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	8,781	9,754	11,688	12,645	12,646	12,646
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,781	9,754	11,688	12,645	12,646	12,646
人件費B		千円	1,168	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483
	正職員従事時間×人数	時間×人	155 × 2	200 × 2	200 × 2	200 × 2	200 × 2	200 × 2
	正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0
その他費用C		千円	47	71	70	70	70	70
トータルコストA+B+C		千円	9,996	11,308	13,241	14,198	14,199	14,199
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	7	7	9	9	9	9
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	690129	中学校学習活動事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

平成元年頃　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

通常の学校生活では触れることのできない環境の中で、非日常的な体験は心身ともに向上する場である。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

■ 変化していない
□ 変化している → 変化した内容

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

通常の生活では得難い体験を行うことにより、児童生徒の健全育成を図り、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力など生きる力の育成の場として体験が必要とされている。

3 評価（SEE）

目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□ 法定受託事務 ■ 自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	なし
			この事務を行う根拠又は理由	学校の教育活動の一環であり、市が支援することが妥当である。
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■ 結びつく □ 結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□ できる → □ 拡大 / □ 縮小 ■ できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□ できる → □ 追加 / □ 拡充 / □ 絞込み ■ できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■ 影響が大きい □ 多少影響がある □ 影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□ できる ■ できない	理由又は内容	中学校１・２年生のほとんどが、合宿訓練・自然教室に参加しているため。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ ある → □ 庁内事業 / □ 庁外事業 ■ ない	類似事業名	
			類似事業との再編の可能性	□ ある → 内容 □ ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ ある ■ ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ ある ■ ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ ある → □ 現状で適正 / □ 検討が必要 □ ない → □ 検討が必要 ■ 受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）

(1)今後の事業の方向性	□ 拡大	□ 改善	■ 現状維持	□ 縮小	□ 統合	□ 廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						